

限り研究を發表して居たことが近時わが國にも知らる、やうになつた。本書の如きも單に第二版の刊行であるけれども、この點から注意すべきものであつて、研究に對する緊張が偲ばれるのである。第一版と詳細に比較する暇がないから、今回は紹介するにこゝめる。(正)

◎最近佛教研究關係

圖書論文一覽

●圖書

極樂莊嚴 大谷光瑞著(價一、八〇) 京都興教書院(一月)

聖德太子和讚集 橋川正編、價〇、三〇) 京都法藏館(二月)

●雜誌

文献上より觀たる佛像の起原

(岩崎眞澄) 史學雜誌(三一ノ二)

京阪地方現存佛像の一瞥

(佐々木恒清) 歴史と地理(五ノ三)

佛教藝術に於ける實在性的考察の起原

(吉田修夫) 密教研究(三)

●新刊紹介

密教の正意 (金山法龍) 同

陀羅尼義章 (長谷部隆謫) 同

顯密二教比較研究 (瀬成世眼) 同

現代思想と密教 (神林隆淨) 同

東寺觀智院の五大虚空藏に就て (戸部隆夫) 同

東寺金剛藏に收藏せらるゝ高野山開版の佛典に就て (大屋徳城) 同

佛書の梵語植物(續)

(根村任三) 東洋學藝雜誌(三七ノ一、二)

長尾氏と一向宗 (長沼賢海) 歴史地理(三五ノ一、二)

親鸞門侶と鎌倉 (鸞尾教導) 同 (三五ノ二)

善光寺草創考 (喜田貞吉) 同 (三五ノ二)

蓮生法師 (森本樵作) 同

草木成佛論 (清水龍山) 大崎學報(五五)

最蓮房上人傳に就て(一)

(岡教遂) 同

妙法華分科の沿革(四)

(鹽田義遂) 同

列聖御製の法華經讚歌

(山上智海) 同

境妙庵月保著者考(淺井要麟)

同

眞藏院藏書目錄解題(二)

(藤田文哲) 同

白馬寺の沿革に關する疑問

(那波利貞) 史 林(五〇ノ一)

日本古建築研究の栞

(天沼俊一) 同

道空と曇寂

(林田光禪) 密宗學報(七九)

因果思想の研究(一、二)

(高神覺昇) 同 (七九、八〇)

綜藝種智院について

(口入田覺了) 同 (七九)

日本における佛教著述最初の整理者

(佐伯良謙) 同

密教の現代的的研究(藤本真光)

(曾我部光俊) 同 (八〇)

護法菩薩傳

(中野義照) 密宗學報(八〇)

屍鬼二十五物語(十一、十二)

(岡井大梁) 同 (八〇、八一)

喇嘛教の興起及び發達

(梅尾密道) 同 (八一)

高祖の聲字實相論(大山公淳)

大日經疏末書解題(小田慈舟) 同

立正安國論に就て(二、三、四)

(今岡根庵) 宗教界(一六ノ一、二、三)

足利時代末の鎌倉光明寺

(藤本了泰) 同 (一六ノ一)

東寺大佛師考

(戸部隆吉) 同

徳川家康の宗教政策

(高瀬承嚴) 同

華嚴學第一頁

(石井教道) 同 (一六ノ二)

支那民族性を解剖して唐朝佛教を論評す

(塚本量遠) 同

行誠僧正と増隆上人

(前田聽瑞) 同、及高野山時報(二七八)

大乘起信論の眞偽問題

(常盤大定) 哲學雜誌(三五ノ一)

佛敎の審美觀と光明思想

(瀧 精一) 同、及高野山時報(一七八)

民族心理に現れたる馮即供に就て

(橋口長一) 人類學雜誌(三四ノ七)

庶物崇拜に就て (竹内不死鳥) 郷土趣味(一六)

東京を中心として見たる繪馬の種類

(鶴岡春二郎) 考古學雜誌(二〇ノ五)

出雲國光明寺の朝鮮鐘

(高田十郎) 同

支那神獸鏡と健馱羅式藝術

(中山平次郎) 同 (二〇ノ六)

福神研究

續福神研究

(喜田貞吉) 民族と歴史(三ノ一)
(喜田貞吉) 岩橋小彌太、中西利徳、本山柱川、田中縁江、磯谷才次郎、那波利貞、江馬務、加藤巖、植村清之助、西田直次郎、高様健貞) 同 (三ノ二)

淺草傳法院の石棺と山谷の陶棺

(小松真一) 武藏野(二ノ三)

八幡大菩薩

(境野 哲) 東洋哲學(二七ノ一)

大食語源考

(高桑駒吉) 同 (戸部隆吉) 宗教界(一六ノ三)

釋迦念佛と釋迦堂本寺の模刻(上)

(田中廣吉) 哲學研究(五ノ二)

新刊紹介

弘願眞宗に就て (住田智見) 宗報(二二〇)

佛敎と國家及び社會

(黑板勝美) 同

佛敎心理(二、三、四)

(瀨成世眼) 高野山時報(二六、二八)

行勝上人傳記考(一)

(植松安) 同 (二八四)

高野山の古活字について

(菅原惠賢、北峰順修、大久保良忠、井上右近、木村卯之、太田力、白石哲一、玉井是博、橋川正) 親鸞と祖國(二ノ一)

聖徳太子に就て

(橋川正) 同 (二ノ二)

妙源寺藏十字名號(橋川正)

清澤滿之氏の遠美近醜論

(井上右近) 同 (和道實) 法爾(二四)

眞宗の話(三、四)

(富士川遊) 同 (二四、二五)

眞實の宗敎(續)

(金子大榮) 同 (二五)

因と縁

(赤澤智善) 合掌(一)

詩人和著舎

(山中峯太郎) 中央公論(三五ノ一)

我れ爾を救ふ (新村出) 藝文(十一ノ一、二)

一三九

一三九

興福寺北圓堂再興に關する新史料

(大屋徳城) 同 (十一ノ二)

平田篤胤の神學に於ける耶蘇教の影響

(村岡典嗣) 同 (十一ノ三)

華嚴聖典ニ佛教藝術

(龜谷聖鑒) 中央佛教(四ノ一、二)

七福神の話

(武田豊四郎) 同 (三ノ二)

近江國分寺考

(橋川 正) 新天台(三ノ一、二)

傳教大師の圓戒興顯に對する苦心(續)

(菊岡默嘯) 同 (三ノ二)

富士加島の莊熟原の法難

(岡 教遠) 法華(七ノ二)

藤原道長の法華信行物語

(山上、泉) 同 歴史地理(三五ノ三)

藤原良經の筆蹟について

(龍 肅) 毒鼓(一ノ二)

日蓮主義研究の根本用意

(田中智學) 同

文字の法華經ニ法華經の文字

(長瀧智大) 同 (一ノ二、三、四)

四條鈔の研究(二、三、四)

(保坂智宙) 同 (一ノ二、三、四)

釋尊よりも大事の日蓮

(山川智應) 同 (一ノ三)

法華經の研究 (長瀧智大)

新和歌集の研究 (橋川 正)

現行宗教制度の概要

(柴田駒三郎) 東亞の光(十五ノ二)

無門關研究斷片 (井上秀夫)

北魏の寺塔建築に於ける印度様

(瀧 精一) 國華(三〇ノ七、八)

佛教藝術の起原 (岩崎眞澄)

釋教三十六歌仙圖解

川崎家の千手觀音圖解

高野山舊藏板彫兩界曼荼羅解

西城佛教藝術ニ神獸鏡

日本彫刻の裝飾 (佐々木恒清)

親鸞の君臨的翻譯(一)

(井上右近) 日本主義(五ノ二)

頼耶ニ諸轉識

本典所引の華嚴經(湯次了榮)

上宮太子御記ニ一百十四首及七十七首太子和讚

分科神ニ自然 (鷲尾教導)

中世日本の寺院領(朝河貫一)

(宇野圓空) 同 (同)

同 (同)

同 (同)

同 (同)

同 (同)